

午後Ⅱ試験

全問共通

全問に共通して、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”が適切に記述されていないものやシステム規模，総額などの整合性がとれないものが散見された。評価の対象となるので，矛盾が生じないように適切な記述を心掛けてほしい。

午後Ⅱ試験では，ITストラテジスト自身の経験と考えに基づいて，設問の趣旨を踏まえて論述することが重要である。問題文及び設問の趣旨から外れた論述，自身の経験について具体性に乏しい論述は，評価が低くなってしまうので，注意してほしい。

問1

問1では，経営上の課題を解決するために基幹システムの刷新方針を策定した経験のある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方で，基幹システムの技術的な課題の解決だけを目指して，古いIT基盤をクラウド基盤に更改するなどの論述が見受けられた。また，刷新方針として，段階的な刷新や業務改革だけの論述にとどまり，新しいシステム構造やITへの具体的な言及が不足している論述も見受けられた。

ITストラテジストは，経営上の課題を解決するために，基幹システムを，新しいシステム構造やITへ刷新することの必要性や経営上の有効性を明らかにした上で，基幹システムの刷新方針を策定できる能力を養ってほしい。

問2

問2では，経営課題の解決において変革が必要となり，変革の実現に当たりDXを推進した経験のある受験者には論述しやすかったと思われる。一方で，経営課題は明確に論述されているものの，デジタル技術の導入，データ活用について終始し，変革については曖昧な論述が見受けられた。また，AIは万能という論調で論述して，AIの中身に具体性のない論述などが散見された。変革を阻害する要因への対応策については，ITストラテジストの考えだけを論述し，経営層や事業部門との協議内容が論述されていないものが見受けられた。ITストラテジストは，DXの企画策定に当たって，DXに期待される変革の実現に着目し企画策定した上で，経営層や事業部門と協議する能力を養ってほしい。